【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第６区分
【発行日】平成17年8月11日(2005.8.11)

【公開番号】特開2004-131154(P2004-131154A)
【公開日】平成16年4月30日(2004.4.30)
【年通号数】公開・登録公報2004-017
【出願番号】特願2002-299655(P2002-299655)
【国際特許分類第７版】
　Ｂ６５Ｄ　 8/16
　Ｂ６５Ｄ　 1/09
　Ｂ６５Ｄ　 1/22
　Ｂ６５Ｄ　77/20
　Ｄ２１Ｈ　11/20
　Ｄ２１Ｈ　21/22
　Ｄ２１Ｊ　 3/10
【ＦＩ】
　Ｂ６５Ｄ　 8/16
　Ｂ６５Ｄ　 1/22
　Ｂ６５Ｄ　77/20　　Ｆ
　Ｄ２１Ｈ　11/20
　Ｄ２１Ｈ　21/22
　Ｄ２１Ｊ　 3/10
　Ｂ６５Ｄ　 1/00　　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成17年1月24日(2005.1.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　蓋体が凹面状に湾曲して接着されて封止される封止容器に用いられるパルプモールド容器であって、
　内層容器と、該内層容器よりも高密度の外層容器とを有し、
　口部の周縁部にクッション性を有するフランジ部を具備し、該フランジ部における蓋体が接着される上面部が内側に傾斜しているとともに、該フランジ部を形成する前記内層容器のフランジ部の密度が０．１～０．６ｇ／ｃｍ^{3}であるパルプモールド容器。
【請求項２】
　前記フランジ部のクッション性が０．１ｃｍ／（２０００ｇｆ／ｃｍ^2）～０．１ｃｍ／（１００ｇｆ／ｃｍ^2）である請求項１記載のパルプモールド容器。
【請求項３】
　前記内層容器のパルプ成分に嵩高処理パルプを含んでいる請求項１又は２記載のパルプモールド容器。
【請求項４】
　前記内層容器のパルプ成分に嵩高剤を含んでいる請求項１～３の何れかに記載のパルプモールド容器。
【請求項５】

内表面及び前記フランジ部を覆う被覆層を有している請求項１～４の何れかに記載のパルプモールド容器。
【請求項６】
請求項１～５の何れかに記載のパルプモールド容器を容器本体とし、該容器本体内に内容物が収容され、該フランジ部の上面部に蓋体が接着されて該口部が封止された封止容器であって、
前記蓋体が凹面状に湾曲する湾曲部を有している封止容器。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
本発明は、上記知見に基づきなされたものであり、蓋体が凹面状に湾曲して接着されて封止される封止容器に用いられるパルプモールド容器であって、内層容器と、該内層容器よりも高密度の外層容器とを有し、口部の周縁部にクッション性を有するフランジ部を具備し、該フランジ部における蓋体が接着される上面部が内側に傾斜しているとともに、該フランジ部を形成する前記内層容器のフランジ部の密度が０．１～０．６ｇ／ｃｍ^{3}であるパルプモールド容器を提供することにより、前記目的を達成したものである。